

～京都大学ホームカミングデイ～



京都大学技術士会 第11回講演会

『人工知能のもたらしつつあるもの』

日時：平成30年11月3日（土）15:00～17:00

主催：京都大学技術士会 ※講演会終了後楽友会館で懇親会を実施します

場所：京都大学時計台記念館 国際交流ホールⅢ

下記地図参照



講師：

西田 豊明（にしだ とよあき）

京都大学大学院情報学研究科教授

1977年 京都大学工学部卒業

1979年 同大学院修士課程修了

1993年 奈良先端科学技術大学院大学教授

1999年 東京大学大学院工学系研究科教授

2001年 東京大学大学院情報理工学系研究科教授を経て

2004年4月 現職

講演内容：

知覚、インタラクション、推論、問題解決、言語運用、連想記憶、学習といった、人に特有の知的な情報処理を自律的に実行できる人工システムの実現をめざした人工知能の本格的な研究開発が開始されてから、60余年になります。この間その時々情報通信技術に基づいて人工知能を実現するためのいろいろなアイデアが試されてきました。過剰な期待と失望による二度の浮沈を繰り返して、2010年前後から第3次ブームに沸いています。現在は、人工知能技術が人々のすぐ身近にあり、データやツールがそろっていて、多くの人々が様々な応用を手軽に作ることができ、多くの周辺技術を取り込んで進歩が加速し続けているところが従来と異なります。人工知能が実社会に大きなインパクトを与える一方で、人工知能の悪用や暴走などが人間社会に負のインパクトをもたらすことも懸念され、人工知能が人類にとって有益であることを保証しようという Beneficial Artificial Intelligence の動きも世界的に広がっています。本講演では、事例も交えつつ人工知能の研究開発の歴史と現状を俯瞰し、人工知能がこれからどのような変化をもたらし得るかについて議論します。

京都大学技術士会のホームページ <http://ku-pe.net/> のトップページにあるイベント案内「お申し込みはこちらから！」から申込みしてください。

参加費：講演会 2000円、懇親会 4000円

申込み方法(インターネットで申込みお願いします)

開催場所：京都大学吉田キャンパス



時計台記念館
2階